

参議院議員

# イハ洋一 後援会たより



イハ洋一後援会（沖縄事務所）

〒901-2203 沖縄県宜野湾市野嵩2丁目1-8-101  
TEL&FAX：098-892-7734

国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館519号室  
TEL/03-6550-0519 FAX/03-6551-0519

Vol.03

2019年2月15日発行

[伊波洋一オフィシャルサイト]

[www.ihayoichi.jp](http://www.ihayoichi.jp)

## CONTENTS

p2 ごあいさつ・活動記録スナップ

p3 国会活動報告

p4 追悼、翁長雄志前沖縄県知事

2.24県民投票のお知らせ

基地のない  
平和な沖縄を



# ごあいさつ 参議院議員 伊波洋一 (会派・沖縄の風)



ハイサイ グスーヨー、新年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

昨年は9月末の県知事選挙で玉城デニー知事が誕生し、8月に急逝した翁長雄志知事が実現した辺野古埋立承認撤回を引き継ぐことができました。10月には城間みきこ那覇市長の2期目当選、豊見城市で山川ひとし市長の初当選が続き、沖縄県民の辺野古新基地に反対する民意を示し続けました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。辺野古ゲート前では毎日多くの県民が建設反対の座り込みに参加しています。

一方、安倍政権は、「沖縄防衛局」を「私人」とする自作自演の「行政不服審査請求」で辺野古埋立承認撤回を執行停止し、12月14日から埋立土砂の投入を強行しました。大浦湾側での軟弱地盤では、国は水面下70～90メートルの砂くいを約6万本も打ち込むことが明らかになりました。海洋環境保全のために玉城デニー知事が承認するはずもありません。安倍政権は土砂投入を直ちに止めて、辺野古新基地建設を断念するべきです。

そのような中で、若者たちが集めた約10万筆の署名による直接請求で、県議会で「辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票条例」が制定されました。当初、市議会が予算を否決した5市長が不参加を表明しましたが、市民が県民投票の実施を求める中、沖縄県議会で全市町村実施に向けて、「賛成」「反対」の2択から、「どちらでもない」を加えた3択にすることを全会派が一致し、先月1月29日の臨時会で条例改正が可決されました。5市を含む全県で、2月24日に県民投票が実施されます。

私も県民投票の成功に向けて取り組んでいます。1月28日から第198回国会が始まる中、2月5日、6日には糸数慶子参議院議員とともに、宮古島市で亀濱玲子県議、石垣市で次呂久成崇県議と一緒に、2月24日の県民投票は「『反対』に○」を書いて投票しようと街頭遊説を行ってきました。

今回の県民投票は、県民一人一人が辺野古埋め立てに反対する意思を投票で直接に示すことができる画期的なものです。ぜひ、ご家族でも話し合っ、友人、知人、お隣近所にも呼びかけて、県民投票で「『反対』に○」を投票し、県民の意思を示しましょう。

## 活動記録スナップ



2018年9月30日 沖縄県知事選挙玉城デニー知事当選バンザイ!



2018年9月13日 告示日宜野湾市長田交差点で知事・市長選挙の応援遊説



2018年10月13日 豊見城市長選挙山川ひとし候補打ち上げ式



2018年10月21日 城間みきこ那覇市長再選おめでとう!



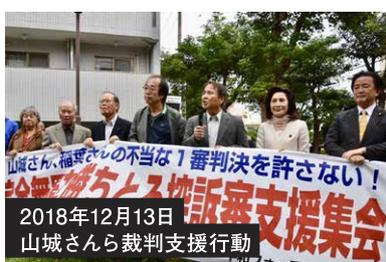
2018年10月21日 城間みきこ那覇市長再選おめでとう!



2018年10月26日 辺野古新基地建設断念を求める緊急県民集会



2018年12月11日 首相官邸前で土砂投入に抗議する「沖縄の風」会派



2018年12月13日 山城さんから裁判支援行動



2018年12月14日 翁長樹子さんと(辺野古ゲート前)



2018年12月14日 辺野古の土砂投入を許さない県民集会

# 国会活動報告

第197回臨時会(2018年10月24日～12月10日)の委員会での主な質疑内容をまとめて紹介します。詳細は公式ホームページをご参照下さい。

2018年11月20日、11月22日、11月27日 外交防衛委員会

## 普天間基地の「5年以内運用停止」実現と危険性除去を求める

2014年に仲井眞知事(当時)と安倍総理との間で「普天間基地の5年以内運用停止」が合意され、2019年2月に期限を迎える。安倍政権は普天間の危険性除去・負担軽減に努めてきたと繰り返すが、空中給油機や訓練移転、オスプレイの移転の後に外来機の訓練が常態化するなど、離発着回数や夜間飛行、騒音回数も増え、住民の苦情も増加している。私立緑ヶ丘保育園や普天間第二小学校の上空飛行など、2009年8月の日米「場周経路合意」違反が繰り返され、むしろ基地負担が重くなっている。政府の「普天間基地の危険性」の認識をただし、訓練移転等のための税金支出について、負担軽減につながっているか、会計検査院の検査を委員会に求めた。



2018年11月13日  
島ぐるみ宜野湾学習会(普天間第三区公民館)



2018年12月5日 政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会

## 沖縄の民意否定と地方自治破壊に抗議

倫選特では総務大臣に質問。米軍施政下の沖縄においては、米国の高等弁務官が琉球政府の行政主席を任命し、住民の直接投票が否定されてきた。主席公選制を求める住民の自治権拡大運動の結果、1968年に直接選挙が実現、屋良朝苗氏が初の公選主席となった。11月に県内で琉球政府主席公選から50年を特集する報道がなされたことを紹介。参政権を獲得し、民主主義を実現してきた先人の努力を継承していくことの重要性を指摘した。同時に、沖縄防衛局が私人になりすまして、沖縄県の埋立承認撤回処分に対する行政不服審査請求を国土交通省におこなったことの法的な問題を指摘。安倍政権による民意の否定と地方自治の破壊について、総務大臣に強く抗議した。



2018年12月4日、12月6日 外交防衛委員会

## 辺野古・違法な土砂投入を許さない

沖縄防衛局は12月3日、民間の安和棧橋から脱法的に土砂の搬出を強行し、12月14日から辺野古沿岸への土砂投入を開始した。防衛省は、埋立承認の添付書類である「環境保全図書」で「細粒分含有率(粒径0.075ミリ以下の土砂の比率)は概ね10%前後」と明記していたにもかかわらず、業者には「細粒分含有率40%以下」で発注していた。岩屋防衛大臣は「護岸で閉め切っているから問題ない」と反論しているが、「環境保全図書」を一方向的にねじ曲げる赤土混じりの違法な土砂投入は許されない。安倍総理は「あそこのサンゴは移した」とフェイク発言を行い、大浦湾の軟弱地盤についても「審査請求中だから明らかにできない」などと事実を隠蔽している。沖縄の民意を踏みにじる安倍政権に対して、改めて辺野古新基地反対の民意を突きつけよう。



2019年1月16日 野党合同ヒヤリング



オール沖縄を代表し、ウチナンチュとして安倍政権に真正面から県民の声を伝え続けた翁長雄志・前知事が昨年8月8日に急逝したことは残念でなりません。

私は、1996年から県議会で与野党として切磋琢磨し、先に那覇市長になった翁長さんと2003年からは宜野湾市長として市長会で一緒になりました。その後、2014年県知事選を応援し、2016年からは参議院議員として、共に沖縄の発展と辺野古新基地建設反対に取り組んできました。「イデオロギーよりアイデンティティー」「基地は県経済最大の障害要因」など、政治家として常に言葉を大切に、県民を裏切ることがありませんでした。

昨年4月のすい臓がん摘出手術後、6月23日「沖縄慰霊の日」の平和宣言や、渾身の力を振り絞っておこなった7月27日の「辺野古埋立承認撤回」に向けた国への聴聞開始の記者会見は脳裏に焼き付いて離れません。8月4日には謝花喜一郎副知事に、万が一の場合には知事に代わっ

# 追悼 翁長雄志 前知事



て「埋立承認撤回」を行うよう指示、その通りに8月31日に埋立承認は撤回されました。

いのちの限り、誇りある豊かな沖縄の実現に全力を尽くした翁長さんの記憶は私たちに励まし続けるでしょう。同時代の政治家として歩めたことを心から誇りに思います。



2016年11月8日 翁長雄志知事激励会にて

**イハ洋一** Official Site  
 沖縄の声を国会へ！  
 未来を決めるのは私たち！  
 沖縄を ソコ・アゲ！  
 沖縄のソコアゲから、はじめます。

伊波洋一オフィシャルサイト  
<http://ihayoichi.jp>

伊波 洋一 (い は よういち) @ihayoichi · 1月30日  
 1月28日の琉球新報に東京新聞1月23日《こちらこそ特報部》「強れる辺野古軟弱地盤」が掲載。詳しくは陶紙面。  
 東京新聞⇒[tokyo-np.co.jp/article/rikyuho](http://tokyo-np.co.jp/article/rikyuho)...  
 この問題を追及している北土田殿さんの「チョイさんの沖縄日記」が参考になる。下記記事以外にも辺野古問題を継続している。

ケーソン護岸下部の軟弱地盤  
 1月28日の琉球新報に東京新聞1月23日《こちらこそ特報部》「強れる辺野古軟弱地盤」が掲載。詳しくは陶紙面。  
 東京新聞⇒[tokyo-np.co.jp/article/rikyuho](http://tokyo-np.co.jp/article/rikyuho)...  
 この問題を追及している北土田殿さんの「チョイさんの沖縄日記」が参考になる。下記記事以外にも辺野古問題を継続している。

＜連載（第3回）＞辺野古新基地建設が頓挫する2つの理由（その3）...  
 ＜連載＞辺野古新基地が頓挫する2つの理由—「軟弱地盤問題」と「県外からの埋立土砂搬入がなくなる」第1土砂搬入が始まったけれど...  
[blog.goo.ne.jp](http://blog.goo.ne.jp)

公式Twitter  
<https://twitter.com/ihayoichi?lang=ja>

## 2.24 県民投票へ行こう！ あなたの1票が辺野古新基地を止める！



沖縄県議会で「賛成」「反対」に「どちらでもない」を加えた3択の条例改正案が賛成多数で可決され、全県実施へととなりました。県民が心を一つに行動すれば、大きな力となって政治を動かす事ができます。

日本で初めて行われるこの歴史的な県民投票にあなたの大切な1票を投じましょう！

さあ、未来を決めるのは私たちです。県民の強固な、新基地建設反対の民意を示しましょう！

2月24日(日)が県民投票の投票日(朝7時～夜8時)です。  
 2月15日(金)～23日(土)の間で期日前投票ができます。



国会内外で活動する伊波洋一参議院議員とそれを支えるイハ洋一後援会の活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

【郵便振替】口座番号：01740-5-122219 口座名：イハ洋一後援会